

公益社団法人日本臨床細胞学会
平成 28 年度第 3 回理事会 議事録

日時：平成 28 年（2016 年）11 月 18 日（土） 7 時 00 分～9 時 30 分

場所：ビーコンプラザ第 4 会場 中会議室 1 階（別府）

役員総数： 39 名（理事 39 名，監事 3 名）

出席総数：理事 37 名，監事 3 名

（理事長）青木 大輔（副理事長）紀川 純三，越川 卓，植田 政嗣，佐藤 之俊

（理事）池田 徳彦，石井 保吉，伊藤 潔，伊藤 仁，稲山 嘉明，井上 健，
榎本 隆之，岡本 愛光，小田 瑞恵，加来 恒壽，加藤 久盛，川本 雅司，小西 登，
小松 京子，齋藤 豪，白石 泰三，竹島 信宏，寺本 勝寛，内藤 善哉，長尾 俊孝，
中村 直哉，羽場 礼次，平井 康夫，広岡 保明，藤井 多久磨，前田 一郎，
森井 英一，森谷 卓也，八重樫 伸生，山城 勝重，横山 繁生，横山 正俊

（監事）

長村 義之，佐々木 寛，長谷川 壽彦

（幹事）

柿沼 廣邦，垣花 昌俊，所 嘉朗，富永 英一郎，町田 知久，山下 博

（専門医会会長）

土屋 眞一

（制度審議委員会委員（陪席））

平田 哲士

（教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ委員長）杉山 裕子

欠席者

（理事）落合 和彦，生水 真紀夫

（肺がん学会とのワーキンググループ委員長）渋谷 潔

（総務委員会幹事）星 利良，丸田 淳子

（制度審議委員会委員（陪席））北村 隆司

（会計士）中田 ちず子

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り，池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って，理事総数の過半数（37 名）の出席により定足数
を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り，議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが
確認された。

1. 理事長報告：青木大輔

第 57 回春期大会・総会および第 19 回 ICC が無事終了したことについて関係各位に謝辞が述べられた。また，専門医制度について日本専門医機構の指針に沿った教育研修制度の改革が進められていることが説明された。

2. 副理事長報告

紀川純三副理事長：学術，編集，国際交流，IAC を所管している。各事業は滞りなく進行しており，詳細については各委員会委員長を確認していただきたい。

越川 卓副理事長：認定試験，検査士，教育を所管している。各事業は滞りなく進行しており，詳細については各委員会委員長を確認していただきたい。

植田政嗣副理事長：細胞診専門医制度改革を進めており，専門医制度整備指針に則り変更を行った。専門医機構のヒアリングが行われ，サブスペシャリティ学会として概ね認められると理解している。今学術集会の専門医セミナーで変更内容について講演する予定であることが述べられた。

佐藤之俊副理事長：総括，財務，財務を所管している。各事業は滞りなく進行しており，詳細については各委員会委員長を確認していただきたい。また，理事候補選出委員会委員長として全国理事候補選挙を実施した，今後地方選出理事候補選挙を引き続き行う予定であることが述べられた。

3. 庶務報告（池田徳彦総務委員会委員長）

平成 28 年度総務庶務報告（2016 年 11 月 7 日現在）

全会員数：12,205 名

（正会員 5,556 名，準会員 6,428 名，名誉会員 39 名，功労会員 157 名，図書会員 25 件）

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：2816 名（実数）

（認定：細胞診専門医 3,325 名，細胞診専門歯科医 45 名）

FIAC：110 名 MIAC：33 名

細胞検査士数：7,378 名（実数）（認定 9,364 名）

CT(IAC)：4,853 名

物故会員（2016 年 11 月 7 日現在）

（正会員）

名 誉 会 員 杉 森 甫 先生（国際医療福祉大学）

功 労 会 員 武 田 敏 夫 先生（千葉大学医学部附属病院病理部）

松 岡 規 男 先生（（医）松山会老健施設「ライフモア保土ヶ谷」）

守 谷 修 而 先生（（財）結核予防会北海道支部札幌複十字総合健診センター
産婦人科）

細胞診専門医 佐 藤 悠 二 先生（一般社団法人江戸川区医師会医療検査センター）

森 田 恒 之 先生（森田泌尿器科産婦人科医院）

医 師 窪 田 彬 先生（神戸百年記念病院）

（準会員）

細胞検査士 安 藤 千 恵 子 殿（共立蒲原総合病院検査課）

平 澤 太 郎 殿

黙 禱

4. 第 19 回国際細胞学会議(ICC2016)・第 57 回(2016 年)春期大会報告(青木大輔理事長)
滞りなく終了したことの報告がなされ、協力していただいた関係各位に謝辞が述べられた。
5. 第 55 回(2016 年)秋期大会準備状況(横山繁生理事)
本日よりの学術集会が滞りなく開催されるように準備がされたことが説明された。
6. 第 58 回(2017 年)春期大会準備状況(植田政嗣理事)
会期：2017 年 5 月 26 日～28 日 会場：大阪国際会議場
学術集会プログラム内容について詳細な説明がなされた。
7. 第 56 回(2017 年)秋期大会準備状況(加来恒壽理事)
会期：2017 年 11 月 18 日・19 日 会場：福岡国際会議場
8. 第 59 回(2018 年)春期大会準備状況(斎藤 豪理事)
会期：2018 年 6 月 1 日～3 日 会場：ニトリホール・ロイトン札幌

9. 報告事項

総務委員会(委員長 池田 徳彦)

[報告事項]

1. マイナンバー外部委託会社は本澤式貸金研究所(社会労務士事務所)に決定し、実施に向けてのスケジュール作成中。(平成 28 年度第 3 回理事会終了後収集開始予定)
特定個人情報取扱要綱およびホームページに掲載される個人情報取り扱いに関する周知文が提示された。
マイナンバーについては、他に情報漏えいなどが起こらないようにきちんと一元管理を行いたいため、このような体制を取ることにした旨理事長より追加発言があった。
2. 河原栄理事の辞任に伴い、7 月初頭に内閣府へ役員変更届を提出した。
3. 熊本地震義援金を募ったところ各地域連携組織から総額 129 万円が集まった。理事会決定による学会からの義援金 50 万円と合わせた 179 万円を 8 月 1 日に熊本県臨床細胞学会指定口座へ送金した。後日、熊本県臨床細胞学会会長より礼状をいただいた。
4. 下記の講習会等に日本臨床細胞学会として後援を承認した。(金銭的な支援では無く、名称使用のみ承認)
 - 1) 「平成 28 年度 中皮腫の診断精度向上のための講習会」(2016 年 8 月 7 日開催)
(主催：環境省)
 - 2) 「第 2 回・第 3 回 泌尿器細胞診報告様式 2015 に沿ったワークショップ」
(主催：泌尿器細胞診(別府)カンファレンス)
 - 3) 「第 4 回 泌尿器細胞診報告様式 2015 に沿ったワークショップ」
(主催：泌尿器細胞診(別府)カンファレンス)
 - 4) 「第 5 回 泌尿器細胞診報告様式 2015 に沿ったワークショップ」
(主催：泌尿器細胞診(別府)カンファレンス)
 - 5) 「平成 28 年度 中皮腫の診断精度向上のための講習会」(2017 年 1 月 15 日開催)
(主催：環境省)
5. 内閣府立ち入り調査は 2017 年 2 月 22 日に決定。
6. 今後の会議予定が確認された。

〔審議事項〕

1. マイページのログイン率を高める方策の検討
2. 「サクラ病理技術賞」の推薦者について：応募者には推薦者が必要であり、推薦者の資格として本学会の理事・評議員等が含まれており、推薦の依頼があった場合には協力するよう要請がなされた。
3. 会員資格喪失者の会員資格復帰について：会員資格復帰希望者が13名あり、復帰が承認された。
4. 会員カードを用いた参加情報の電子化について：現状の説明がなされ、情報管理の責任体制として、情報処理委員会、細胞診専門医委員会、細胞検査士委員会、および総務委員会で情報の管理を行うことが提案され承認された。青木理事長より今後、他学会の専門医更新のための単位として他学会へ参加情報を提供する必要が生じるため、会員全員に本学会としてカードを配布することも検討したいとの発言があった。

情報処理委員会（委員長 伊藤 仁）

〔報告事項〕

1. マイページについて
2016年9月1日より改修中であった項目が閲覧可能となった。
その他、細かい修正等は引き続き改修を進めている。
・2016年11月02日現在のマイページログイン率
医師:55.35% 技師(正会員):73.42% 技師(準会員):64.36%
名誉会員:35.90% 功労会員:45.22% 合計:61.44%
ログイン率の向上のために、本学会の学術集会や地域連携組織の学術集会で周知することを検討している。
2. 細胞検査士のセミナー・ワークショップ参加受付の電子化
第71回細胞検査士教育セミナーでのカード読取テストを行い、参加900名のうち893名が持参しており、持参率は99%でした。第72回細胞検査士教育セミナーでも実施しました。

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 内藤 善哉）

〔報告事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の選考委員会を2016年9月30日（金）に日本臨床細胞学会会議室において開催した。選考結果は以下の通りである。
応募数は、学会賞1名、技師賞（学術部門）2名、（功労部門）3名、班研究課題3件であった。

選考結果報告；

- 1) 学会賞：松江市立病院病院長，紀川純三氏 が選考された。
選考理由：副理事長，学術委員長や春の学術集会大会長として日本臨床細胞学会並びに細胞学の進歩に多大な貢献をされた。
- 2) 技師賞（学術部門）：東海大学医学部付属病院病理検査技術科，加戸伸明氏 が選考された。
選考理由：多くの優れた細胞診に関する論文や発表を行うなど学術的に優れた業績を有する。
- 3) 技師賞（功労部門）：上尾中央総合病院検査技術科 病理，大野喜作氏 が選考された。
選考理由：永年，細胞診に関する論文や発表を行い，また，多くの講習会の講師などを務め日本臨床細胞学会の発展や後進の育成に貢献している。
- 4) 班研究課題：博愛会相良病院病理診断科部長，大井恭代氏 が選考された。
選考理由：乳腺疾患の細胞診における液状化細胞診の有用性について，新たな観点からのエビデンスが期待される。

2. 最優秀論文賞の応募について 11 月頃よりイエローページおよびホームページにて応募要項を掲載予定。応募期間は平成 28 年 1 月中旬から 2 月中旬を予定している。
3. 各種選考に際し，規定以外に選考方法に関する具体的な内規を作成した。内規は今年度より用いることとし，制度審議委員会川本委員長に内容確認を依頼した。
4. 国際病理アカデミーから学術委員の推薦依頼があり，本学会からは中村直哉理事を推薦した。
5. 日本医学会より「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」の学術プログラム構成に関するアンケートの依頼があり，委員の意見を取りまとめ回答した。
6. 学術集会あり方検討ワーキンググループを学術委員会内に設置した。
ワーキンググループメンバー：
横山 繁生，加来 恒壽，都築 豊徳，小松 京子，白石 泰三，久山 佳代，
中村 直哉，内藤 善哉
メンバーは協議内容に伴い，適宜追加できることとする。
学術集会のあり方について議論のための提案書を作成，委員の意見を募り，学術委員会選考委員会後に話し合いの場を持った。

〔審議事項〕

特になし

計理委員会（委員長 岡本 愛光）

〔報告事項〕

1. 計理基準の作成について
計理基準の作成について，現在「退職金規定案」を事務局内で作成中である。出来上がり次第，中田会計事務所に確認を行う予定である。
2. 秋の監査会を 11 月 8 日に行われた。概ね問題なく細かな修正を行って最終的な書類作

成中である。長谷川寿彦監事より、監査についてのルール作りを明文化する必要があるとの発言があった。川本理事より報酬等の支出基準についての案が以前提出されている。細かい文言の関係でまだ承認には至っていない。これらを周知して確認する必要があるのではないかと発言があった。内藤理事より、学術集会の在り方WGでも計理の件も含めてスケジュールのルールを示す方向で検討しているとの発言があった。

3. 平成 29 年度の予算案について委員会委員長宛に書類を発送した。

(提出締切：11 月 30 日)

〔審議事項〕

特になし

編集委員会 (委員長 竹島 信宏) 【資料 38P-42P】

〔報告事項〕

1. 投稿論文 (9 月 21 日時点) (資料 1.2)

調査対象期間

2014 年投稿論文：113

2015 年投稿論文：75

2016 年投稿論文：57

採用率

2014 年投稿論文：73.5%

2015 年投稿論文：68.0%

2016 年投稿論文：45.6%

2. 2016 年日本臨床細胞学会雑誌 55 巻 3 号・4 号の発刊

〔審議事項〕

1. 株式会社メテオメディカルオンライン学会誌配信契約について

メディカルオンラインは、発行された雑誌を公開するという事業であり、現在の J-STAGE に加えてメディカルオンラインにも本学会の雑誌を公開することになることが説明された。メディカルオンラインへの掲載料は発生せず、むしろ論文閲覧者に課金され、その一部が学会収入となること、さらに過去 10 年分のバックナンバーも無料で掲載可能であることが説明され、メディカルオンラインとの契約締結が提案された。

審議の結果特に反対意見なく、契約について了承された。

2. Acta Cytologica のオンライン購読について

学会全体として Acta Cytologica を年間オンライン購読料 23,000SF (約 250 万円) での購読契約を結ぶことが提案された。

佐藤副理事長より本学会のオフィシャル雑誌であるにも関わらずこの金額が発生する妥当性に対して疑問が呈された。長村監事より閲覧していただくことには IAC としてメリットはあるが値段が高いという印象がある。学会として許容可能な値段まで価格交渉で下げられるかどうかの問題であるという意見が述べられた。山城理事より本学会事務局の事務作業が増える懸念があるという発言があった。また、佐々木監事より、

IAC メンバーはすでに会費を払っており費用の二重払いの問題があるため、精査する必要があるとの発言があった。また、小松理事より IAC メンバーのメリットが少なくなるという懸念もあるという発言があった。以上の問題点を考慮し、本件は継続審議となった。

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

[報告事項]

1. 第2回細胞診専門医委員会が開催され以下の点が話し合われた。
2016年9月11日（日）10:00～15:00
日本臨床細胞学会事務局 地下2階
 - 1) 細胞診専門医試験に関して
 - 2) チェックリストの変更
 - 3) 受験生 129人
 - 4) 試験会場について：AP浜松町を予定しているが今後もっと安い会場を探す努力をすることとなった。
2. 2016年細胞診専門医資格更新対象者
0774-0899, 1171-1241, 1447-1509, 1711-1797, 2160-2274, 2578-2672, 2962-3051, 8001-8017
3. E-learning について
これまで行われた教育講演について7題をピックアップしDVDを作成した。それぞれの講演（DVD）について設問5問を作成した。次回のイエローページにて会員に周知し開始する予定。

[審議事項]

1. 会員カード紛失について、800円の実費で再発行を行うことが承認された
2. 細胞診専門医資格審査用願書変更に関して：現状に即した形への変更案が提示され、審議の結果承認された。

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝）

[報告事項]

1. 平成27年度認定施設新規申請について
2016年3月31日（木）締め切りとし、申請施設は8施設あった。
2016年6月14日（火）に審査会を行い、審査の結果、認定条件を満たしていない1施設を認定不可とし、他7施設を認定し、認定証を発送した。
2. 平成28年度教育研修施設新規申請について
2016年6月30日（木）締め切りとし、申請施設は11施設あった。
2016年7月30日（土）に審査会を行い、審査の結果全11施設を認定し、認定証を発送した。
3. 平成27年度年認定施設年報提出状況（提出締切 2016年3月31日）
全853認定施設中 提出済788施設（92.4%） 未提出59施設（6.9%） 廃止6施設

(0.7%)

4. 平成 28 年度教育研修施設年報提出状況（提出締切 2016 年 6 月 30 日）
全 314 教育研修施設中 提出済 243 施設（77.4%） 未提出 71 施設（22.6%）
事務局より未提出施設について督促を行っている。
5. 内部精度管理（実地調査）について
平成 28 年度実施調査は、内部精度管理ワーキンググループ（山城勝重 WG 長）のもと
で 4 施設（年報未提出施設 3、新規認定施設 1）を対象として実施（平成 28 年 8 月中）
対象施設： 国立病院機構仙台医療センター，和歌山県立医科大学附属病院，明石市立
市民病院，一般財団法人永頼会松山市民病院
結果は、全施設とも「良」であった。年報未提出等の原因は、東日本大震災・専門医
の病気療養・組織変更等によるもので、今後は改善出来ると判断した。
6. 平成 27 年度認定施設更新業務
対象施設 59 施設
更新可 48 施設（81.4%） 更新可として新認定証を送付済。
未完了 10 施設（16.9%） 未完了理由：年報未提出，更新料未納
未申請 1 施設（1.7%）
7. 平成 28 年度教育研修施設更新業務
対象施設 6 施設
更新可 5 施設 更新可として新認定証を送付済。
未申請 1 施設
8. 外部精度管理（コントロールサーベイ）について
本年 6 度目となるコントロールサーベイは、外部精度管理ワーキンググループ（小島
勝 WG 長）のもとで既に問題作成が終了し、配布 DVD が完成した。9 月末に全認定施設
へ配布済。
解答は 2016 年 10 月 31 日（月）締め切りとして回収する。
解答は集計し、集計結果と症例の解説は 2017 年 3 月には学会ホームページにて閲覧可
能とする予定。参加施設にはその際、参加証明書を送付予定。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

〔報告事項〕

1. 平成 28 年度（第 49 回）細胞検査士資格認定試験
志願者総数は 760 名で、このうち 88 名が 1 次試験免除のため 1 次試験の志願者数は 672
名となった。1 次試験は 2016 年 10 月 29 日（土）に CIVI 研修センター新大阪東（関西）
で実施した。
2 次試験は 2016 年 12 月 10・11 日（土・日）に東京富士大学において実施する予定。
2. 平成 28 年度細胞検査士試験問題作成委員会
2016 年 7 月 18 日（月・祝），2016 年 8 月 21 日（日），2016 年 9 月 11 日（日）の 3

回にわたり、委員会を開催して筆記試験および細胞像試験の問題を作成した。

3. 2016年CT(IAC)資格認定試験

2016年5月28日(日)、パシフィコ横浜において実施した。101名が受験し、101名全員が合格した。

[審議事項]

1. 細胞検査士養成課程、養成所の申請に必要な資料についての変更案が提示され、承認された。また、5年ごとに報告書の提出を義務付ける点についても承認された。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

[報告事項]

1. 平成27年度 細胞検査士資格更新者(ピンクカード) (2016年11月2日現在)
全更新対象者数：1507人
更新完了者：1433人(95.1%) 条件付き更新完了者：23人 保留更新者：3名
未申請：10人 更新辞退・退会者：31人 資格失効：1人
更新未完了者：4人(再提出・未入金等) 宛名不明：2人
2. 平成28年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー (グリーンカード)
0138～0194, 0364～0439, 0760～0912, 1147～1353, 2068～2258, 2913～3119,
3932～4209, 4942～5134, 5813～6050, 6574～6748, 7450～7685, 8318～8612
更新予定者：1819人
※ 2017年2～3月に更新審査予定

[審議事項]

特になし

教育委員会（委員長 八重樫 伸生）

[報告事項]

1. 平成28年度の予定は順調に行われていることが報告された。

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第125回細胞検査士養成講習会	2016年7月4-16日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第41回細胞診断学セミナー	2016年8月4-7日	東京医学技術専門学校：教育委員長
第71回細胞検査士教育セミナー	2016年8月27-28日	日本教育会館：片山 博徳
第72回細胞検査士教育セミナー	2016年9月10-11日	松下IMPホール：矢羽田 一信
第72回細胞検査士ワークショップ	2016年7月23-24日	札幌医科大学：田上 稔
第73回細胞検査士ワークショップ	2017年3月11-12日	国際医療福祉大学成田保健医療学部：平田 哲士